

臨床心理学：転移

41-056 転移・逆転移で適切なのはどれか。

1. 転移は逆転移を誘発する。
2. 陰性転移の解釈は避ける。を行う必要はある。
3. 心理治療の目標は陰性転移の出現である。が出現してくる。
4. 逆転移は治療者の意識的反応である。無意識的反応
5. 逆転移を認識したときは治療を中止する。必要はない。

42-056 転移・逆転移で正しいのはどれか。 陰性転移

1. 治療者に対する患者の怒りは逆転移の一種である。
2. 逆転移を認識したら治療を中断する。必要はない。
3. 心理治療の目的は陽性転移の出現である。は治療の途中で出てくる
4. 転移は行動化の原因となる。その中でそれにより、眠っていた感情に気付く手がかりとなる。
5. 転移を起こしている間の出来事は想起できない。覚えている。

43-057 逆転移に該当するのはどれか。ことはや行為によって現れる。

1. 患者からの贈り物を受け取る。
2. 患者に理由のない嫌悪感を抱く。
3. 患者の治療方針を同僚と議論する。
4. 治療効果に関する患者の質問に苦慮する。
5. 知人から依頼された患者の治療を引き受ける。

44-056 転移・逆転移で適切なのはどれか。

- 2つ選べ。
1. 逆転移は治療者の生活史を反映する。
 2. 陽性転移は治療的接近の手がかりになる。
 3. 患者の怒りに気付いたら治療者を交代する。必要はない
 4. 行動化は患者が転移を意識したときに生じる。無意識に生じる。
 5. 逆転移を認識したら患者にそのことを伝える。治療者自身が洞察する。

47-A-079 逆転移に相当するのはどれか。

1. 治療者が患者に夢の解釈を教える。
2. 治療者が患者に様々な感情を向ける。
3. 治療者が無意識の葛藤を患者に意識させる。
4. おとぎ話の内容が患者の精神症状に現れる。
5. 患者が過去の治療者に向けた感情を現在の治療者に向ける。

48-P-078 転移・逆転移で適切なのはどれか。

- 2つ選べ。
1. 逆転移は治療者の生活史を反映する。
 2. 陰性転移は患者理解の手がかりになる。
 3. 陽性転移がみられたら治療者を交代する。必要はない。
 4. 行動化は患者が転移を意識したときに生じる。無意識
 5. 逆転移を認識したら患者にそのことを伝える。転移については、場合によっては、患者に治療者自身が洞察する。そのことを伝え意識させる。

転移と逆転移

過去の重要な人物(父母など)に向けていた感情を治療者に向けること。

・陽性転移
好意など良い感情を向けること

・陰性転移
嫌悪など悪い感情を向けること

※転移は精神分析の治療の中で出現するもので、治療者は転移を解釈し治療につなげる。

逆転移

治療者が患者に無意識に向ける感情。
治療者は逆転移がおこつたりそれについてしっかり洞察する。

☆転移も逆転移も、

患者や治療者の生活状況や生活史に影響される。



例えば無意識に嫌悪を向けられると、治療者も「イラ!」とくることもある。
※転移が逆転移を誘発